

平成26年度 決算報告

平成26年度事業報告及び会計収支決算について次のとおりいずれも承認されました。

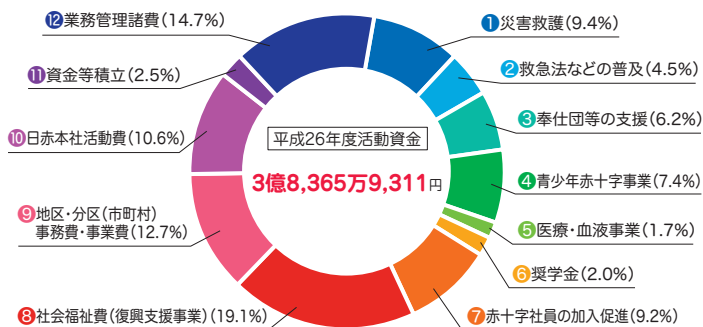
平成26年度一般会計歳入歳出決算報告

収 入	支 出	収入支出差引額
441,945,113円	383,659,311円	58,285,802円

福島県支部

収 入	
一般社資収入(個人社費・寄付金)	266,524,268円
法人社資収入(法人社費・寄付金)	15,934,934円
補助金収入	863,000円
繰入金(資金、特別会計)	3,900,000円
本社交付金	89,902,058円
雑収入	3,598,056円
前年度繰越	61,222,797円
合 計	441,945,113円
収入支出差引額(繰越金)	58,285,802円

支 出	
①災害救護救済費、資機材費	35,947,256円
②救急法等講習会費 (救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援)	17,277,635円
③赤十字奉仕団(ボランティア)育成費	23,742,888円
④青少年赤十字(JRC)育成費	28,380,707円
⑤医療事業費、血液事業費	6,496,512円
⑥救護看護師養成費(奨学金)	7,809,674円
⑦社員募集、社資募集経費	35,452,952円
⑧社会福祉費(復興支援事業)	73,121,845円
⑨地区・分区(市町村)事務費、事業費	48,623,985円
⑩日赤本社活動費	40,869,105円
⑪資金等積立	9,608,808円
⑫業務管理諸費	56,327,944円
合 計	383,659,311円



平成26年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告

福島赤十字病院

収益的収入	収益的支出	収入支出差引額
7,186,146,732円	7,075,108,366円	111,038,366円

資本的収入	資本的支出	収入支出差引額
1,246,773,985円	1,246,773,985円	0円

受章者の紹介

皆様からのご支援に感謝しております。

(平成26年12月1日～平成27年12月20日) 順不同・敬称略

紺 綬 褒 章 年間500万円以上

●三 春 町 影山 勝夫

厚生労働大臣感謝状 年間100万円以上

●須賀川市 矢部 豊
●いわき市 永井 邦男

●三 春 町 影山 ケイ子

日本赤十字社社長感謝状 金色有功章受章後累計50万円の都度

●福 島 市 一般社団法人 福島県銀行協会
●福 島 市 村山 陽一
●福 島 市 齋藤 忠
●福 島 市 六陽印刷(株)
●会津若松市 (株)会津電気工事
●猪苗代町 金子工業(株)
●猪苗代町 宗像 秀雄

金 色 有 功 章 累計が50万円以上

●福 島 市 東北コピー販売(株)
●福 島 市 佐藤 勝三
●伊 達 市 芳賀 甚市
●二本松市 (株)久野製作所
代表取締役社長 久野 浩二
●郡 山 市 (財)脳神経疾患研究所
総合南東北病院
●郡 山 市 福星運輸(株)
●田 村 市 桑原 修
●会津若松市 吉原産業(株)
●南相馬市 鎌田 たつ子
●相 馬 市 (株)キクチ
●いわき市 永井 邦男
●いわき市 アース建設(株)
●いわき市 石井 満征
●三 春 町 影山 勝夫
●三 春 町 影山 ケイ子
●西 郷 村 白河オリンパス(株)
●飯 舘 村 濱田建設工業(株)

銀 色 有 功 章 累計が20万円以上

●福 島 市 羽田 次男
●福 島 市 三瓶 剛男
●福 島 市 (有)加藤共同会計事務所
●福 島 市 (有)児玉測量事務所
●福 島 市 東開クレテック(株)
●福 島 市 (有)福酸ガス販売
●福 島 市 岸波 庄二
●郡 山 市 菊地 陸
●郡 山 市 矢島 日出雄
●郡 山 市 (株)青木商店
(フルーツショップ青木)
●郡 山 市 (株)アーバン設計
●郡 山 市 (有)黒田電機商会
●郡 山 市 (有)鈴木はつり工業
●白 河 市 (株)佐久間組
●白 河 市 永山産業(株)
●白 河 市 仲川 利一
●会津若松市 (有)吉原商会
●会津若松市 大島 美佐子
●南相馬市 (有)林組
●相 馬 市 光洋電設(株)
●いわき市 常磐火力産業(株)
●矢 祭 町 久保 芳宏
●診 療 化 成 (株)
●塙 町 本多設備工業(株)

＋日赤ふくしま

平成27年12月

第40号

震災から間もなく5年、

赤十字はこれからも

県民の皆様に取り添った活動を
継続していきます。



《救急法等の普及》



《復興支援事業(学校支援・音楽鑑賞)》



《北海道・東北支部合同災害救護訓練での炊出し》

支部長あいさつ



日本赤十字社
福島県支部長
内堀 雅雄

東日本大震災及び原発事故から4年9ヵ月が経過しましたが、本県では未だに多くの
方々が不自由な避難生活を余儀なくされています。日本赤十字社は発災直後から全国
の赤十字病院救護班等による医療救護活動を実施いたしました。さらに、避難生活が長
期化する中で、日赤福島県支部は復興支援事業として「生活再建」「教育支援」「福祉
サービス」など各種事業を展開しているところです。

また、県下の赤十字奉仕団は、各地の仮設住宅地における「花植え」や「交流会」など
を通して避難住民の健康保持やストレス軽減を図るなど、被災された方々に寄り添った
活動に取り組んでいます。

日赤福島県支部では、災害救護活動、国際救援活動、医療事業、血液事業、赤十字講習
会開催、ボランティアの育成などの平常事業と併せて今後も復興支援事業を継続してまいりますので、県民の
皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

あなたの思いを赤十字に

～ご自分や故人の意思を広く社会に役立てるために～

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされ
たご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えていきます。

相談される方々の事情は様々ですが、ご自身や故人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用で
きる団体に寄付したいという思いは共通しています。

日本赤十字社は、このような尊いご意思に応えるために遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付を承っております。

発行所／日本赤十字社福島県支部

福島市永井川字北原田17 ☎024(545)7997(代) <http://www.fukushima.jrc.or.jp>

赤十字事業は皆様からお寄せいただいた活動資金に支えられています。

平成27年度の福島県支部事業



災害救護活動

赤十字は、災害発生時の迅速な救護活動を実施するために日頃から訓練や研修を行っています。

戦後70年記念行事

「平和への祈りと赤十字講演会」／6月19日

戦時に日赤福島県支部から派遣された33人の殉職救護員の冥福と恒久平和を祈念した記念行事を開催しました。一般の方や医療従事者など180人が参加しました。

第1ブロック支部合同災害救護訓練／9月29日～30日

北海道と東北6県支部及び茨城県支部合同の救護訓練を郡山市で実施。140人の救護班と230人のボランティアが参加し、地震による大規模災害を想定した訓練を行いました。



日赤看護大学
川嶋名誉教授による講演



訓練で放射線量を測定する日赤スクリーニングチーム



赤十字ボランティア

赤十字ボランティアは、日頃の地域活動を通じて相互理解、友情、協力の共助する心を育てます。

平成27年度「赤十字ボランティアのつどい」(第6回)／10月21日

郡山市のビッグパレットふくしまで開催し、約700人の赤十字奉仕団員および関係者が参加しました。永年にわたり地域活動に功績があった赤十字奉仕団員等への表彰や震災時における奉仕団活動の発表、避難されている方々を招待しての講演会を行いました。



開会式で挨拶する内堀雅雄支部長



青少年赤十字(JRC)

青少年のときから赤十字精神を養い実践活動を通して社会に貢献できる人間づくりをめざします。

国際交流事業「フィリピン派遣」／8月9日～15日

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標のもと国際性豊かな青少年の育成をめざし、高校生と指導者11名をフィリピンに派遣。現地の高校などを訪問して若者たちとの交流を図りました。また、フィリピン赤十字社では震災支援への謝意と福島の実況を伝えました。

第39回青少年赤十字福島県指導者研修会ならびに学校公開／10月2日

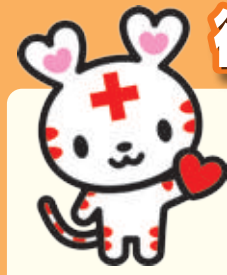
「気づき」「考え」「実行する」の態度目標をもって学校教育に取り組む青少年赤十字育成事業の成果が報告されました。会場のいわき市立草野小学校・草野中学校では公開授業や生徒による発表、分科会などが行われました。



フィリピン赤十字本社を訪問した
JRCメンバー



いわき市立草野小学校での公開授業



復興支援事業

海外から支援いただいた救援金をもとに被災された方々への支援事業を実施しています。

100の赤十字社・赤新月社及びクウェート政府から救援金

世界の赤十字・赤新月社から多額の東日本大震災への救援金が寄せられました。日本赤十字社では、この救援金をもとに、被災された方々への様々な支援事業(健康増進、学校支援、住民交流会、赤十字奉仕団による活動など)を展開しています。



仮設住宅集会所での「にこにこ健康教室」の様子

赤十字の活動資金に協力をお願いします

ご協力いただいた金額により表彰があり、税制上の優遇措置もあります。



赤十字の活動は一人ひとりのやさしさに支えられています



災害救護活動
Disaster Relief



血液事業
Blood Programme



国際活動(救護と開発協力)
International Activities



講習普及事業
Safety Services



看護師等養成
Training the Nurses



青少年赤十字
Junior Red Cross



赤十字
ボランティア
Volunteers



社会福祉事業
Social Welfare Services



医療事業
Medical Services

お問い合わせ

日本赤十字社福島県支部組織振興課
☎024(545)7998

献血に協力をお願いします

今、400ml献血と血小板成分献血が必要です。



福島献血ルーム

福島市永井川字北原田17(駐車場完備)

☎024(544)2552

受付 金曜・1/1を除く毎日
9:00～11:30/12:45～17:00
(血小板成分献血 ～16:30)

郡山献血ルーム

JR郡山駅2F東西自由通路西口正面(指定駐車場あり)

☎024(925)2638

受付 12/31・1/1を除く毎日
10:00～12:30/13:45～17:30
(血小板成分献血 ～17:00)

会津献血ルーム

会津若松市一箕町大字八幡字門田1-2(駐車場完備)

☎0242(24)6650

受付 毎週月・水・土曜(年末年始を除く)
9:00～11:30/12:45～17:00
(血小板成分献血 ～16:30)

いわき献血ルーム

いわき市中央台飯野5丁目1-1(駐車場完備)

☎0246(29)5624

受付 毎週火・木・土曜(年末年始を除く)
9:00～11:30/12:45～17:00
(血小板成分献血 ～16:30)

福島県赤十字血液センターURL ▶ <http://www.fukushima.bc.jrc.or.jp/>

平成27年 国内義援金・海外救援金受付状況 (平成27年11月30日現在)

国内義援金

●平成26年長野県神城断層地震災害義援金	1,182,858 円
●平成27年台風第18号等大雨災害義援金	8,382,512 円
●平成27年台風第21号与那国町災害義援金	338,447 円
●平成27年屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金	728,519 円
●東日本大震災義援金(平成23年3月12日からの累計)	809,033,813 円
合 計	819,666,149 円

海外救援金

●2015年南太平洋サイクロン救援金	6,473 円
●2015年ネパール地震救援金	12,268,618 円
合 計	12,275,091 円

平成26年度NHK海外たすけあい

8,365,548 円

※義援金は全額被災者に配分しています。

福島赤十字病院 看護スタッフ募集

- ・資格／看護師・看護助手
- ・勤務／外来・病棟
- ・給与／日本赤十字社
給与要綱により支給いたします。

臨時パート募集!!

- 詳細については、下記までお問い合わせください。
- 当院ホームページにも掲載しておりますので、参照ください。

《お問い合わせ》
福島赤十字病院 総務課人事係
☎024(534)6101
URL <http://www.fukushima-med-jrc-jp>